

1. 件名：日本原燃(株)再処理施設等の設工認に係る面談

2. 日時：令和4年3月2日(水) 13時35分～13時45分

3. 場所：原子力規制庁(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 市村原子力規制部長

審査G核燃料施設審査部門 清水係員

日本原燃株式会社 須藤専務執行役員 他3名

5. 要旨

○日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、再処理施設及びMOX施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する審査対応の状況について、主に以下の説明があった。

- ・耐震関係について対応体制を強化すべく、日本原燃、電気事業者、協力会社を含めたオールジャパン体制の耐震チームを東京に設置した。また、再処理施設に係る申請書の共通事項に対応するための体制も再整備した。
- ・令和4年2月28日の審査会合を踏まえ、飛来物防護ネットの設計モデルの妥当性については、資料を拡充し説明する。また、基準地震動を1.2倍した地震力に対するMOX施設の耐震設計については、社内で議論し、内容を詰めていく。

○原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。

- ・体制についてひとつひとつ口を挟むことはしないが、これまでも伝えているとおり、申請者としてしっかり検討を進め、審査会合で議論できるよう準備をしてもらいたい。

6. 資料

なし

以上